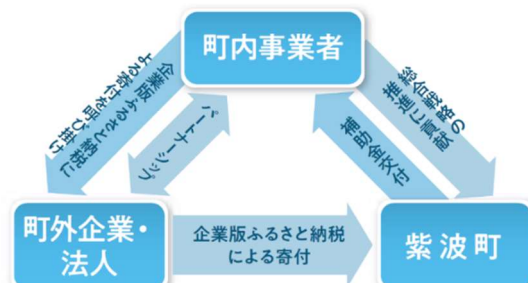


紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費について

1 紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進費

第2期紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進を図るため、総合戦略連携プロジェクトに関する事業を実施しようとする民間事業者から提案を募集し、企業版ふるさと納税を原資とする補助金を交付するものです。

【イメージ】



※企業版ふるさと納税とは…国が認定した地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合、法人関係税から税額控除する仕組み。令和2年度の税制改正により、損金算入措置による軽減効果(約3割)と合わせて、最大で寄附額の約9割に相当する額が軽減されることになりました。

2 実施事業の内容(2件)

①事業名	紫波町における NFT を用いた地域活性化プロジェクト
②事業者名	SOKOLIFETECHNOLOGY 株式会社 代表取締役 菅原 壮弘
③事業目的	Web3の技術(NFT)を活かして、地域資源(特産物、自然、伝統、文化)を広く世界に周知し、特産品の普及に寄与するほか、町と連携し、福祉事業への貢献、伝統芸能の保全、生産者(担い手)の増進、関係人口の増加を目指す。
④事業内容	・紫波町社会福祉協議会と連携した障がい者のアート作品の NFT 化 ・日本酒、ワイン、果物等の特産品、地域の名地の匂いの NFT 化 ・ゲーム内で利用するアイテムの NFT 化 ・町内生産者への NFT 化のレクチャー
⑤実施期間	令和5年7月から令和6年3月
⑥交付額	0 円
⑦実施内容	事業中止 【理由】 寄附金が集まらなかったため
⑧今後の方針	・3社の寄附候補企業がいたが、手続きへの着手の遅れにより、年度内の寄附を実現することができなかった。 ・次年度以降は、計画内容及び寄附金の募り方を見直した上で事業を継続する。

①事業名	スポーツを通じた地域交流促進のためのクラブハウス整備事業
②事業者名	株式会社いわてアスリートクラブ 代表取締役社長 秋田 豊
③事業目的	紫波運動公園の現陸上競技場観客スタンドの設置箇所にプロ仕様のトレーニングルームをはじめ、多目的ホール、トイレ、ロッカー等設備を有するクラブハウスを整備する。本クラブハウスは、町民の健康に携わる最大の拠点として利用するほか、グルージャ盛岡のクラブハウスとして利用することで、チームの運営にかかわる消費、サポーターの往来に関わる町内での消費活動や、地域コミュニティの形成、地域連帯感の向上、地域への誇りやアイデンティティの醸成が期待される。
④事業内容	町民の健康増進を目的としたクラブハウス整備 ・令和5年度 クラブハウス設計 ・令和6年度 クラブハウス建設、グラウンド改修
⑤実施期間	令和5年7月から令和6年3月
⑥交付額	0 円
⑦実施内容	事業中止 【理由】 同様の事業が令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けたことから、本事業を中止するもの。
⑧今後の方針	・本事業の対象として受領した寄附金については、デジタル田園都市国家構想交付金を活用し町が整備するスポーツ交流拠点の整備に充当する。 ・寄附額が整備費を超過した場合は、令和6年度以降にグラウンド改修を実施するために活用する。